ティー エフ　ディー ケイ
# 増設子機 TF−DK125

適応機種

ティー エフ　ブイ ディー　ブイ ディー
**TF-VD1200/VD1230/**
ブイ ディー
**VD1240**
ティー エフ　ブイ アール　イー　ブイ アール　イー
**TF-VR120E6/VR123E6**

# 増設子機取扱説明書（保証書付）

このたびは、パイオニアの増設子機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をよくお読みください。
取扱説明書には保証書もついておりますので、大切に保管してください。

本機は、2.4〜2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH−SS方式」、与干渉距離は約80mです。
本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2.4FH8

当社はJBRC会員です。

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。


**お客様相談室** 本製品のお問い合わせ窓口

東日本地区：TEL. 所沢 04-2949-5131

西日本地区：TEL. 大阪 06-6533-0099

専用FAX：所沢 04-2949-5501

受付　月曜〜金曜　9：30〜17：30
　　　土曜　9：30〜12：00、13：00〜17：30（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

●電話番号をよくご確認の上、市外局番より、お間違えのないようおかけください。
●上記の電話番号・受付時間などは、変更する場合がありますのでご了承ください。
（平成21年3月）

**実際の登録操作は、裏ページをご覧ください。**

# 「安全上のご注意」について

ご使用の前に本体に付属の取扱説明書　4～10ページの「安全上のご注意」と「知っておいていただきたいこと」をよくお読みの上、正しくお使いください。

# 使用上の注意

- 増設子機を使用する際は、増設子機の登録操作が必要です。増設子機の登録操作をしていないと、子機の液晶画面に「オヤキニ　ゾウセツ　シテクダサイ」または「オヤキ　サーチチュウ」（または「ツウワ　ケンガイ」）と「 圏外 」が表示され、使用できません。
- 使用できる子機の台数は、付属子機を含めて最大4台です。
- 増設子機の登録操作には、増設子機の他に、親機と親機用ACアダプターも必要です。親機用ACアダプターをコンセントに差し込んだ状態で、行なってください。
- 子機をお使いの前に、子機を充電器に置き、約10時間以上充電してください。
- 充電池が消耗している場合、子機を充電器に置いても、子機の 発信ランプが緑点灯しないときがあります。そのときは、充電器に置いたままお待ちください。約10分で緑点灯します。
- 子機の充電方法については、本体に付属の取扱説明書の「子機の充電」（17～18ページ）をご覧ください。
- 充電端子が汚れていると子機の 発信ランプが緑点灯していても充電できないことがあります。乾いた布または綿棒などで、こまめに拭き取ってください。
- 充電器を壁に取り付けることができます。その場合には、別売のネジが必要です。くわしくは、本体に付属の取扱説明書の「壁掛け」（89～90ページ）をご覧ください。

■ 増設しても、子機の液晶画面に「オヤキ　サーチチュウ」（または「ツウワ　ケンガイ」）と「 圏外 」が表示されているときは、親機に近づいてください。表示が消えないときは、、文字 内線/保留、 ハンズフリー のいずれかを押してください。
親機の電源が入っていても、子機が親機から離れすぎたり、使用環境によっては「オヤキ　サーチチュウ」（または「ツウワ　ケンガイ」）と「 圏外 」が表示されることがあります。

# 各部のなまえ

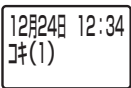
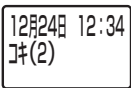
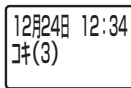
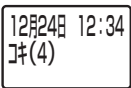
本体に付属の取扱説明書 14～15ページの「各部のなまえと液晶画面」をよくお読みください。

＊その他のご注意や機能、操作につきましては、本体に付属の取扱説明書をご覧ください。

## ⚠危険

- 充電池は加熱したり、火中に投げ込まないでください。爆発して火災・けがの原因となることがあります。
- 充電池の端子をショート（短絡）したり、ビニールカバーをはがしたりしないでください。火災・けがの原因となることがあります。
- 専用の充電池（当社純正品）以外は、使用しないでください。火災・故障の原因となることがあります。
- 充電するときは、付属の充電器をお使いください。

## ⚠警告

万一、煙がでている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐにＡＣアダプターをコンセントから抜き、内部などを開けずに煙がでなくなるのを確認して修理窓口または販売店に修理をご依頼ください。
特に、電話機が異常に熱くなっている場合は、やけどの危険性がありますので、絶対に触らないでください。
お客様による修理、確認などは危険ですので、絶対におやめください。

# アフターサービスについて

本体に付属の取扱説明書 109～110ページの「保証書とアフターサービスについて」をよくお読みください。

# 子機番号について

- 子機を増設すると、子機の液晶画面に子機番号が表示されます。
- 増設できる子機の台数は、付属子機を含めて最大4台です。

| 増設する製品 ＼ 子機の液晶表示 | 子機番号1 | 子機番号2 | 子機番号3 | 子機番号4 |
|---|---|---|---|---|
| | 12月24日 12:34 コキ(1) | 12月24日 12:34 コキ(2) | 12月24日 12:34 コキ(3) | 12月24日 12:34 コキ(4) |
| TF−VD1200<br>TF−VR120E6 | 付属子機 | 増設子機 1台目 | 増設子機 2台目 | 増設子機 3台目 |
| TF−VD1230<br>TF−VR123E6 | 付属子機 | 付属子機 | 増設子機 1台目 | 増設子機 2台目 |
| TF−VD1240 | 付属子機 | 付属子機 | 付属子機 | 増設子機 1台目 |

# 仕様・付属品

下記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

| 型番 | TF−DK125 |
|---|---|
| 消費電力 | 子機充電時：約1.8W |
| 充電池 | 専用充電池（ニッケル水素電池）： 型番ＴＦ－ＢＴ10<br>使用時間 ： 待ち受け時 約180時間　　連続通話時 約6時間 |
| 寸法<br>(幅×高さ×奥行) | 子　機：約45×166×35mm<br>充電器：約67×71×73mm |
| 質量 | 子　機：約140g（充電池を含む）　　充電器：約 57g |
| 付属品 | 子機用ＡＣアダプター（ＶＴ－16）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥1個<br>増設子機取扱説明書‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥1部※<br>管理ラベル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥3枚(予備2枚) |

※…英文などの外国語の取扱説明書はありません。また、本機に関するお問い合わせおよびサポート、取扱説明書の掲載内容につきましては、国内限定とさせていただきます。
Please take notice that manuals written in languages other than Japanese are not available.

**ご注意　NOTICE**

この製品は日本国内向けに製造されたもので、電圧100Vで動作します。
海外では、電話回線や電源電圧の規格が異なりますので、ご使用になれません。
For Japanese standards only. This set operates on AC100V.
Due to different standards of telephone line and different power requirements, this set cannot be used outside of Japan.

# 子機を増やすには（増設子機の登録方法）

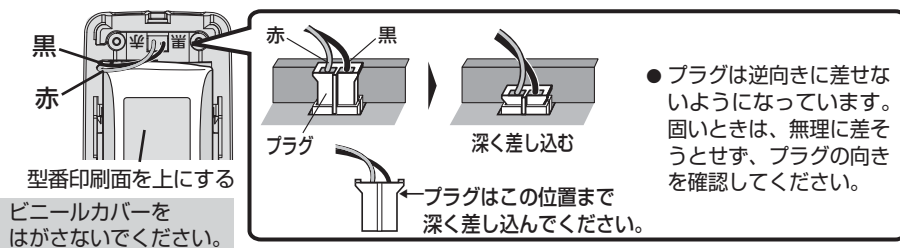
## 準　備

### 操作を始める前に

- 一度この説明書を最後まで読み、手順を確認してください。
- 付属の管理ラベル3枚のうち1枚を、親機の底面に貼ってください。（残りの2枚は予備）
- 親機用ACアダプターが接続されていることを確認してください。
- 回線種別が正しく設定されていることを確認してください。（本体に付属の取扱説明書　19ページ）

**1　増設子機にプラグを差し込み、充電池（ニッケル水素電池）を入れる（むやみにプラグの抜き差しはしないでください。）**

ビニールカバーをはがさないでください。

- プラグは逆向きに差せないようになっています。固いときは、無理に差そうとせず、プラグの向きを確認してください。

**2　充電池ぶたを閉じる（コードをふたで、はさまないようにしてください。）**

① 約5mmあけた状態にする

右図のようにつめの先端を合わせると、約5mmあいた状態になる

② 充電池ぶたを子機に均等に密着させる

③ 密着させたまま、充電池ぶたを矢印の方向にスライドさせて閉じる

**3　充電器に子機用ACアダプターを接続し、増設する子機を約30分以上充電する**

■ 子機の液晶画面には「オヤキニ　ゾウセツ　シテクダサイ」または「オヤキサーチチュウ」（または「ツウワ　ケンガイ」）と「圏外」が表示されます。

充電しても、液晶画面に何も表示されないときや、子機の 発信ランプが緑点灯しないときは、次のどちらかの操作をしてください。

- 子機を充電器からとって、もう一度、充電器に戻してください。
- 充電池ぶたをあけ、充電池のプラグを抜き差しし、プラグの向きと差し込みの深さを確認して、充電池ぶたを閉じてください。

**4　充電のあと、増設する子機を充電器からとって（切）を押し、増設子機の登録操作を行なう**

- 登録操作が終わるまで、充電器に子機を戻さないでください。

## 増設のリセット　＊増設のリセット操作中は、子機を使用しないでください。

子機の使用をやめるときや子機を交換するとき、使用する子機の数を減らすときに行なってください。そのあと、使用する子機で「増設子機の登録操作」をやり直してください。

■ 必ず、次のことを行ない、「増設のリセット」を行なってください。

1. 親機の電源を接続しておく
2. 回線種別が正しく設定されていることを確認する（本体に付属の取扱説明書　19ページ）
3. すべての子機を充電器からとって、（切）を押し、親機の近く（通話圏内）に置く

■ 続けて「**増設子機の登録操作**」を行ないます。

おしらせ

- 「増設のリセット」を行なったあと、「増設子機の登録操作」を行なわない子機（使用しない子機）は、充電池（ニッケル水素電池）を外してください。誤動作の原因となります。

# 増設子機の登録操作　＊登録の操作中は、子機を使用しないでください。

■ 回線種別を正しく設定後（本体に付属の取扱説明書　19ページ）、増設する子機を充電し（切）を押して、親機の近くに持ってきてください。

▶登録が終わると、親機も子機も通常状態の画面に戻ります。

■ 増設子機が2台以上あるときは、必ず、1台ずつ上記（1）と（2）をくり返し行なってください。

■ 登録後、下記操作を行ない、正しく増設できたことを確認してください。

● 親機または他の子機を呼出すことができないときは、もう一度、「増設子機の登録操作」を行なってください。

■ 登録後、液晶画面の表示が次のような場合は、登録に失敗しています。そのまま使用すると、誤動作の原因になる場合があります。もう一度、**「増設子機の登録操作」**をやり直してください。

- 「オヤキニ　ゾウセツ　シテクダサイ」または「オヤキ　サーチチュウ」と表示されているとき
- 「ツウワ　ケンガイ」と表示されているとき
- 「コキ　ゾウセツニ　シッパイ　シマシタ」と表示されているとき

## ご注意

- 子機の使用をやめるときは、「増設のリセット」を行ない、使用する子機で「増設子機の登録操作」を行なってください。
- 「増設子機の登録操作」を途中で止めるには、親機の 増 が点滅中に、再度、親機で（1）の操作を行なってください。増 の点滅が消え、通常状態に戻ります。
- 「増設子機の登録操作」や「増設のリセット」の操作中、または操作後、約10秒間は、親機や子機を使用しないでください。また、親機から親機用ACアダプターを抜いたり、子機の充電池を外さないでください。登録やリセットの情報を正確に書き込めず、正常に動作しない場合があります。
- 操作を間違えたとき、時間内に登録操作が完了しなかったとき、登録に失敗したときは、「増設子機の登録操作」をやり直してください。（なお、ご使用にならないときは、誤動作を防ぐために、充電池を外しておいてください。）
- （1）の親機の操作を行なわずに、（2）の子機の操作を行なったときは、「コキ　ゾウセツチュウ」と表示され、子機の操作ができなくなります。約20～40秒経過すると、通常状態に戻ります。
- 名称登録（本体に付属の取扱説明書　82～83ページ）している子機で「増設子機の登録操作」を行なうと、お客様が登録した子機の名称は自動的に消去され、お買い上げ時の状態（「コキ（1）」または「コキ（2）」…）に戻ります。再度、登録し直してください。

**Pioneer** 保証書 **持込修理**

| 品　名 | コードレス留守番電話機用増設子機 | 機　　種 | TF-DK125 |
|---|---|---|---|
| 保証対象 | 増設子機（ニッケル水素電池を除く） | 保証期間 | （お買い上げ日より）1年間 |
| ※お買い上げ日 | 年　月　日 | | |
| ※お客様 お名前 | 様 | ご住所 電話番号 | （　） |
| ※販売店 | 店名・住所・電話番号 | | |



※印欄は必ずご記入ください。

**＜無料修理規定＞**

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または修理窓口が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口にご持参ください。その際には本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合や、お近くの修理窓口がない場合は、修理受付センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、冠水等による故障および損傷
   （ハ）火災、地震、水害、**落雷**その他の天災地変、公害、塩害、虫害、**異常電圧**などによる事故および損傷
   （ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用への長時間使用、車両・船舶への搭載等）
   （ホ）消耗品（各部ゴム、電池、テープ等）の交換
   （ヘ）増設子機の登録操作を行なう場合
   （ト）本書の提示がない場合
   （チ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
   （リ）故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
   **（ヌ）出張修理をご希望されたときの出張費用、引取修理をご希望の場合の引取・お届けの配送費用**
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

| （修理メモ） |
|---|
| |

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間中および経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口・修理窓口にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後5年間保有しています。

**パイオニアコミュニケーションズ株式会社**

〒359ー1167　埼玉県所沢市林2ー70ー1